



▲観衆を魅了する創立50周年記念行事

Q 行政課題財源の確保は

A 村税の確保が最も重要

Q1 歳入の骨幹である村税の収
納確保への対応と見通しにつ
いて伺います。

A1 今般の国からの税源移譲
により、歳入の骨幹として
村税の重要性が一層増す中で、税



遠藤 秀鬼 議員（新志会）

負担の公平性の維持と税収の確実な補足については、村政の重要課題と受け止めており、これまで電算システムの見直しなど、収納体制の充実強化を進めています。また確固とした納税秩序の確立のため、相談の実施、財産調査等を徹底し、滞納処分を前提とした整理手法を進めています。

収納確保は、県地方税滞納整理機構や関係部署との連携を強め、他市町村の平均水準までの引き上げを目標にしております。

Q2 「防衛施設周辺の生活に関する法律」に基づく特定財源の確保について伺います。

A2 防衛施設周辺地域である大川地域を含む一本木・柳沢地区において、障害の防止・軽減あるいは民生安定が図られるべく、今後も該当地域を中心に実施していく計画であります。

岩手山演習場周辺市町村連絡協議会での要望活動の他、村単独で

の更に積極的な要望活動を行うとともに、周辺地域の皆様のご意見・ご要望をお聞きしながら、関係する事業も展開をまいります。

Q3 誘致創設以来50年という大きな節目の年を迎えた陸上自衛隊岩手駐屯地との今後の連携強化について伺います。

A3 村民登山を始めいろいろな村の行事にお手伝いをいただいております。スポーツや芸術面で優秀な人材が多く、村の発展に大きく寄与されております。

防衛施設補助金、特別交付金によって生活基盤の整備を行ってきています。特に10年の岩手山の火山活動が活発化した時期には、村の避難防災体制の強化に協力をいただき、村国民保護協議会にも参加しており、防災及び有事の要である認識しています。

今後も関連組織の方々と連携を更に強化していきたいと考えております。

Q 子どもたちの将来像は

A 地域ぐるみで連携して



佐藤 澄子 議員
(春緑クラブ)

Q1

子どもたちの豊かな育ちを応援するために将来を見据えた計画がもっと広い視野で考慮され取り組まれるべきと捉えております。

今の時代だからこそ、子どもの将来を守るために私たち大人は何をしなくてはならないのかを明確にしていくことが大切です。

滝沢村の子どもたちは

「こんなふうに育ってほしい：育てたい：守りたい」という気

持ちをこめた施政が必要です。「地域は地域の皆でつくる」という総合計画の基本的な考え方の

中に子どもの参加は今後、どのように位置づけられていくべきとお考えでしょうか。



▲虫さんどこにいる

A1

近年、わが国の教育を取り巻く環境は倫理観、使命感の気薄化による模範意識、道徳心、自立心の低下、さらには、家庭や地域の教育力の低下など大きく変化しており、子どもたちの安全確保、いじめ問題、学力の低下など、多くの課題が指摘されております。

本村では、既に、地域の皆様のボランティアにより子どもたちの登下校の安全を守るスクールガードの取り組み、地域の大学生の協

力によるラーニング・サポート・プロジェクト事業、地域の教員OB等の人材を活用した放課後マイスタデイ支援事業などを展開し、地域ぐるみで行う教育の充実に努めているところであります。

現在、学校教育への地域の協力を求めることに止まらず、生活科、統合的な学習の時間、特別活動等において、児童生徒がボランティア教育、福祉教育、環境教育の一環として地域で体験する学習などを行っております。

また、村内各小・中学校に教育振興運動実践区を置き、児童生徒の地域行事や清掃活動等の奉仕活動への参加を奨励し、ある学校においては、「地域活動に中学生の力」を合言葉に、中学生の参加を働きかけております。

児童生徒は次代の担い手であることから、今後とも、地域の一員として活動が活性化するように、家庭、地域と連携しながら推進してまいります。